

ひがしなりだより

Higashinari



東成区マスクキャラクター
「うりちゃん」

防災特集 〔風水害編〕 保存版

The City of Osaka website offers information in multiple languages.

風水害対策

「もしものとき」にあわてないために

災害はいつどこで起こるかわかりません！

令和6年能登半島豪雨は、9月21～22日にかけて能登半島の北部で記録的な大雨となり、石川県輪島市では最大1時間降水量121mm、3時間降水量220mmなど観測史上1位の記録を更新し、この災害では線状降水帯が発生しました。

豪雨災害・地震災害ともに、いつどこで起こるか予測できないものであるからこそ、平時からの対策が重要です。防災特集号を水害ハザードマップ（6～7面）と合わせて保存し、有効にご活用ください。

※線状降水帯…次々と発生する発達した雨雲（積乱雲）によって、数時間にわたってほぼ同じ場所を通過または停滞することで作り出される、線状に伸びる長さ50～300km程度、幅20～50km程度の強い降水をともなう雨域のこと



2025年(令和7年)6月発行



家族の防災会議を開きましょう！

どのような場合にどこへ避難するか、あらかじめ適切な避難行動を考えおくことが大切です。
一緒に住んでいる方や、離れた家族や友人などと共有することも重要です。



【主な検討事項】

- 避難場所や落ち合う場所
- 安否確認の方法（連絡手段など）
- 避難出口の確認



家族の防災会議 (大阪市ホームページ)



マイタイムラインを作ろう！

家族や友人などと話し合ったことや自分自身で考えた「自分の逃げ方」を、マイタイムラインや緊急連絡カードなどにまとめましょう！

マイタイムラインの様式、記入方法など



大阪市



災害ごとに避難のタイミングと避難先を確認しましょう！

《水害時》(避難情報警戒レベル3以上発令時) 河川等氾濫など水害への備え 避難フロー

ご自宅の周辺の浸水の深さを浸水想定図(水害ハザードマップ)からご確認ください。

スタート

浸水想定図でご自宅周辺は着色されていますか？

はい

ご自宅は家屋倒壊等氾濫想定区域内にありますか？*

いいえ

いいえ

避難の必要はありません。
⚠️ あくまで想定ですので、日ごろの準備は必要です。

避難が必要です!!
堤防が決壊すると家屋が倒壊・流出するおそれがあります。
まず家屋倒壊等氾濫想定区域の外に避難したうえで…

- 浸水の深さは？
- 5.0m以上
 - 3.0m～5.0m未満
 - 0.5m～3.0m未満
 - 0.5m未満

- お住まいの階は？
(戸建て住宅の場合は最上階)
- 3階以上
 - 2階以下
 - 2階以上
 - 1階

- ご自宅の安全な場所で待機することができます。
- 避難が必要です!!
- ご自宅の安全な場所で待機することができます。
- 避難が必要です!!
- ご自宅の安全な場所で待機することができます。

浸水しない場所へ避難

浸水しない 安全な場所へ

原則 浸水が始まる前に早めの避難!!

避難先の優先順位 ① 自宅・親戚宅・知人宅・職場など

避難先の優先順位 ② 最寄りの避難所

逃げ遅れたら命を守れる場所へ

避難先の優先順位 ③ 最寄りの水害時(津波)避難ビル
・高い建物や高い場所

《台風発生時》

台風発生

台風に関する情報を確認
防災用品の確認

台風接近(上陸3日前)

避難場所の確認
(遠方への避難を検討)

台風上陸直前(上陸1日前)

交通機関計画運休等の確認
広域避難開始(遠方へ避難できる場合)

台風上陸・最接近

屋内安全確保(堅牢な建築物へ避難または家から動かない)

⚠️ 上記はあくまで目安です。建物により居室の床の高さが異なりますので、上記図によらない場合があります。また、老朽化した木造家屋の場合は家屋倒壊等氾濫想定区域外であっても家屋の倒壊・流出の可能性があります。

*外出時は、「お住いの階は？」を「滞在場所(勤務地、宿泊先)の階は？」と読み替えてください。



《水害ハザードマップ》

大阪市



(日本語版)

水害ハザードマップ(大阪市ホームページ)

全国



(多言語版)

水害ハザードマップ(大阪市ホームページ)



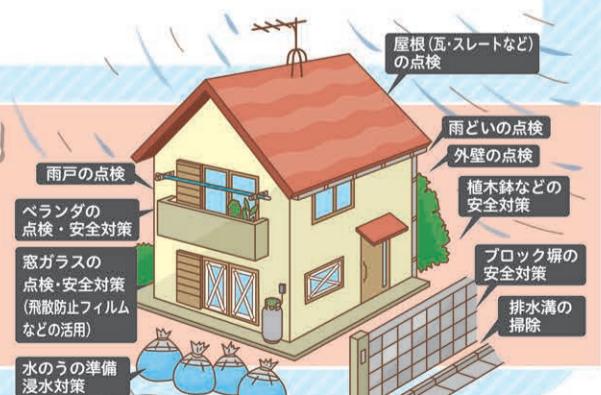
ハザードマップ
ポータルサイト

(国土交通省ホームページ)



暴風・竜巻の備えも!!

毎年強風注意報が50回前後、そのうち暴風警報が複数回発生しています。また、竜巻の注意喚起も年に複数回発表されています。お住まいや所有の空家の対策を怠らないようにしましょう！



勤務先や通学先、旅行先のハザードマップも確認しましょう！

災害は自宅にいるタイミングで発生するとは限りません。発災時に自分がどこにいるかによってるべき行動も異なります。

勤務先や学校、お出かけ先などのハザードマップをあらかじめ確認し、万が一の際の行動を決めておくようにしましょう。



外出していた場合

地域では自主防災活動の取組みとして、毎月1日、サイレンを鳴らしています。問い合わせ 市民協働課 〒6977-9042

【特集】風水害対策